

袈裟丸山山行報告

【山行日】2018年5月27(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 5:00

【費 用】マイカー1台 : 1,300円

【メンバー】CL:鈴木 岡、梶内、関、鶴見、
松館

【コースタイム】岩舟支所P5:00=折場登山
口P6:45/7:00~賽の河原7:55/8:05~小丸山
8:50/9:00~袈裟丸山 10:00/11:00~小丸山
12:00~賽の河原 12:35/12:45~折場登山口
P13:30/13:40=道の駅「くろほね 1420/14:40
=岩舟支所P16:00



今日の計画は塔ノ沢コースを登る予定だったが、我輩の膝と腰の具合が悪く明後日に中倉山山行が控えているので、皆さんに「弓の手コースに変更したい」と同意を得て弓の手コースに登ることにした。折場登山口に予定より早く着き、駐車場も空いていてトイレの側に車を止める。準備を整え



トイレを済ませ、ストレッチを行い登山計画書をポストに入れ出発する。木の階段を登り、自然林の登山道を進むとやがて笹原の尾根に出て展望が開ける。岩が露出した小ピークで休憩し、衣服調整して水分を補給する。ここからは笹原の谷の向こうに袈裟丸山が見え、新緑の中にシロヤシオやヤマツツジが彩りを添えとても美しい。笹の尾根を登りつめるとシロヤシオやヤマツツジの花が多くなり「ウワ～綺麗」と皆大喜び。5月4日に来た時はアカヤシオが素晴らしく、シロヤシオ

がこれほど多い山だとは思わなかった。望外の花に皆喜んで、弓の手コースに変更して良かったと胸をなでおろす。ツツジ平で休憩し、展望檜に登って眺望を楽しむ。ここから少し行くと賽の河原で、ここで塔ノ沢コースの道と合流する。カラマツの林を抜け、雨量計がある小ピークからは県境尾根を歩くようになる。ここからはシロヤシオやヤマツツジがさらに多くなり、アカヤシオも凄かったがシロヤシオとヤマツツジのコラボは勝るとも劣らない美しさだった。時折トウゴクミツバツツジも加わり、白、赤、ピンクの競演は言いようのないくらい素晴らしかった。



花に見とれてアツと言う間に小丸山に着き、休憩を取る。今日も天気は最高で、袈裟丸連峰がすべて見えその奥には皇海山から白根山、右手には庚申山から男体山までくっきり見えていた。小丸山



から下った鞍部の広場には、黄色いドーム型の避難小屋とトイレがあり、女性達はトイレを使用する。ここから少し登りダケカンバの純林の中の平坦な道を進むとアズマシャクナゲが見られるようになり、この先から袈裟丸山への急登が始まる。樹林帯の中の急坂をロープや木の根を頼りに登ると、緩やかな登りになり明るく開けた稜線に出る。眺望を楽しみながら緩やかに登ると、一等三角点が置かれた前袈裟丸山山頂に出る。山頂の先にアズマシャクナゲの群落があり、樹林の向こうにピンクの花

が見えている。昼食の場所を決め、荷物を置いてシャクナゲの花を見に行く。山頂部は丁度見頃で素晴らしかったが、少し下ると花が痛んでいて見ごろを過ぎていた。時間に余裕があるので、八反張まで降りても良いと思ったが花が終わっているので引き返した。山頂に戻り記念写真を撮ったら、少し早いランチタイムとする。本日の山ご飯はキノコうどんにイカの天ぷらを載せた。温かいうどんに柔らかいイカ天が良く合い、とても美味しくいただいた。お茶を飲んだら片付けて、下山開始する。下山は往路を戻り、小丸山で休憩しK内さんの冷たいヨーグルトを美味しくいただく。ここからの下りは、陽射しを受けたツツジが一層美しく、白や赤を堪能しながら楽しく下れた。ツツジ平で最後の休憩を取り、残った行動食を平らげいっしょに登山口に下る。他のパーティーの皆さんもつつじに圧倒されたようで、皆ニコニコ顔で「今年のツツジは本当に綺麗ですね～」と話しかけてくる。登山口に着き、靴を履き替えトイレを済ませたら帰路につく。途中、道の駅「くろほね」に寄り、飲み物やお土産を買い岩舟支所に1時間30分早く戻ることが出来た。

